

よ なか だんぜつ
世の中と断絶しただけ

よ なか せいふく
世の中を征服することができる

創6章1~8節 そして主は言われた。「わたしが創造した人を地の面から消し去ろう。人をはじめ、家畜や這うもの、空の鳥に至るまで。わたしは、これらをつくったことを悔やむ。」しかし、ノアは主の心にながっていた。(7~8)

Remnant は世の中と断絶した霊的*プラットフォームのシステムを作りましよう。神様のみことばと創造、光の力が私に臨むように祈れば良いのです。そうすれば、世の中を征服することができます。Remnant 7人が世の中と断絶して、霊的に集中したとき、答えを受けました。

1つ目、滅ぼされた人々は、すべて世の中と親しくなっていた人々でした。創世記3、6章に出てくる内容のように、霊的なことは考えないで、肉体的なこと、お金がすべてだと考えたのです。このような人々は、神様より人によく見られること、力と権力を得ようとしています。2つ目、Remnant は御座の祝福を味わいましよう。御座の祝福を私の中にプラットフォームとしましよう。これが、ほかの人を生かす箱舟になります。そして、この箱舟のために次世代と多くのいのちが生かされます。3つ目、世の中と断絶して箱舟を造った人がノアです。ノアはその時代の義人だと言われました。義人とは、救われた者のことです。そして、霊的なことと世の中、サタンと聖霊を分ける者のことです。そして、ノアは、その時代に準備された人でした。神様とともに歩む全き人でした。

Remnant もノアのように三位一体の神様が私の中に臨む集中の時間を持ちましよう。

*プラットフォーム：何かを利用するために必ず必要な基盤のこと

*断絶：なにかの関係が切れることを意味します。

神様、世の中と断絶した霊的集中の答えを受けますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ひと だんぜつ ひと い
人と断絶しただけ人を生かすことができる

創39章1~6節 一方、ヨセフはエジプトへ連れて行かれた。ファラオの廷臣で侍従長のポティファルという一人のエジプト人が、ヨセフを連れ下ったイシュマエル人の手からヨセフを買い取った。(1)

Remnant は人を生かす見張り人の使命を持っている霊的*見張り台です。わざわいを止めるキリストは光です。キリストが私たちのことを世の光だと言われました。これを契約として持っています。すると、人と関係が良くなくても、人を生かすようになります。

1つ目、神様が Remnant の中に*臨在されているならば、霊的プラットフォームを持っているやぐらになります。すると御座の光が照らすようになります。すると、三つのことを生かす人になります。まず、自分自身と家系を生かします。家系に光があるので霊的問題がなくなるのです。そして、ほかの人も生かします。2つ目、人々と現実と断絶したように思う苦しいときがあるかもしれません。その時間は、御座の祝福を味わう時間になります。聖書には、この祝福を受けた Remnant のことが記録されています。ダビデはサウル王に追われたその時が、御座の祝福を受ける時間になりました。奴隷として売られて行ったヨセフに、神様はすべてのことに、ともにいて祝福されました。家に帰ることができず、一人で神殿にいたサムエルも同じです。孤独なその時間が祝福の時間でした。

Remnant は人と関係より、神様との関係を先に点検してみましよう。

*見張り台：敵やまわりを見渡して守るために高く建てられた場所のことです。

*臨在：神様が人に臨まれることを意味します。

神様、人より神様ともっと親しい Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

11
(水)

わたし だんぜつ わたし い
私と断絶しただけ私を生かすことができる

ガラ 2章 20節 もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。

どんな人間であっても、滅びの中から救われることができる唯一の方法はキリストです。Remnantはこの事実を覚えましょう。Remnantは神様の恵みで救われたのです。このような私を知っていることが、私を断絶することです。すると、生かす答えを受けます。

1つ目、神様がくださった約束があります。天と地のすべての権威を持って世の終わりまで、いつもともにいると言われました。そして、万民に行って福音を伝えなさいと言われました。すると、地の果てまで証人になると言われました。この約束は変わりません。それゆえ、問題と危機を恐れる必要はありません。2つ目、「私」ではなく、神様の契約を持っているなら、私と家庭、教会、世の中を生かすことができます。私の中にキリストが生きておられることを覚えていれば良いのです。この契約を持っていた初代教会の重職者を通して、世界が生かされました。3つ目、「私」ではなく、私の中におられるキリストを覚えて、神様がくださった約束を握っていると、力が現れます。キリストと神の国の力、マルコの屋上の部屋で起こった力が、私が行く所ごとに現れるようになります。

だれも助ける人がいなくても、落ち込むことなく、御座の祝福を味わう機会にしましょう。

神様、私を正しく知って、神様がくださった祝福を味わう Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2022. 11. 12. 世界ろう者宣教大会 3 講

12
(木)

せ かい か みち
世界を変えた道しるべ

使 11章 19~30節 さて、ステパノのことから起こった迫害により散らされた人々は、フェニキア、キプロス、アンティオキアまで進んで行ったが、ユダヤ人以外の人には、だれにもみことばを語らなかつた。(19)

ステパノのことから起こった迫害によって、アンティオキア教会は世界を変える道しるべを持ちました。神の国が臨むように祈りの*やぐらを变えたからです。アンティオキア教会が受けた答えを通して Remnant が受ける答えを確認してみましょう。

1つ目、*再創造の答えです。散らされた人々は、迫害によって追われる者だと思っていました。しかし、神様のやぐらを持っていたので、征服者の答えを味わうことができました。迫害は、彼らが生きる道になったのです。2つ目、以前にもなくて、これからもない空前絶後の答えです。ローマが福音を伝える人々を殺そうとする深刻な状況の中でも、伝道の門は開かれました。主の御手と恵みが彼らとともにあったのです。そして、迫害者パウロが悔い改めてアンティオキア教会に連れて来られることが起こりました。3つ目、時空を超越する答えです。歴史上初めての宣教師がアンティオキア教会から派遣されました。また、門がふさがったと思ったとき、パウロは、マケドニアへのターニングポイントを迎えました。それがローマ福音化の門でした。

Remnant は危機の前でだまされずに、神様のことを私のやぐらに変える時間**を必ず持ちましょう!**すると、行く所ごとにサタンが縛られて聖霊が臨む神の国の**答えが与えられる**でしょう。

*迫害-弱い立場の者などを追いつめて、苦しめること

*やぐら-見張りをするために建てた高い塔のこと

*再創造-再び造り出すこと

神様、迫害の中でも神様のことを私のやぐらとして建てる祈りの時間を持つことができますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

か こ うんめい め だ
過去、運命から抜け出さない

使1章1~8節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。(8)

イスラエルの民は、サタンの奴隷になっている運命の中から抜け出す福音を知りませんでした。それゆえ、次世代は、ほかの国の奴隷、捕虜、属国になりました。これがイスラエルの歴史です。しかし、神様は福音を悟った少数の Remnant を通して、運命の中から抜け出すようにされました。

1つ目、エジプトのヨセフは奴隷として行ったのですが、主がともにおられる奥義を持っていました。それゆえ、奴隷でしたが、王を変化させました。モーセは「血のいけにえを献げに行きなさい」という神様の契約を持って、出エジプトの奇跡と紅海を分ける働きを起しました。2つ目、バビロンに奴隷として行ったダニエルの三人の同僚は、王の前で偶像をおがむことはできないと言いました。これは運命を変える信仰の告白でした。ダニエルは、獅子の穴に投げ込まれて殺されることになりました。ところが、主の御使いが獅子の口をふさいだので、獅子は危害を加えなかったと王に言いました。それがバビロンをひっくり返す時間になりました。3つ目、パウロはキリストに会った後に、福音が救いを与える神様の力であることが分かりました。世々にわたって隠されていた福音が、自分に明らかになったと告白しました。これが福音を悟った Remnant が受ける祝福です。

か こ うんめい め だ かくいん もくそう
過去の運命から抜け出す福音を黙想しましょう。

かみさま か こ うんめい なか め だ かくいん さと
神様、過去の運命の中から抜け出す福音を悟れますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2022. 12. 19. 東南アジア伝道集会 1 講

あたら はじ
新しい始まり

使1章8節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。

Remnant が正確な福音を持っているのなら、祈ることができます。神様に向かって何を祈って集中して祈れば良いのでしょうか。

1つ目、やぐらを祈りましょう。三位一体の神様と御座の祝福です。そして、私の過去、今日、未来が神様の力に変わる祝福です。そして*5つの力と空中の権威を持つ支配者に勝つ力です。すると、わたしの契約の旅が見えて、*3つの庭を生かす力が与えられます。この7つが私の中に臨むように祈りましょう。2つ目、旅程を祈りましょう。三位一体の神様が導かれる道を行くように祈りましょう。そして、絶対に失敗しない奥義、絶対に揺れないみことば、*5つの確信を持って、戦わずに流れを変える道を進むのです。神様がくださる一生の答えを見て、私が行くすべての現場がキャンプになるように祈ります。3つ目、道しるべを祈りましょう。カルバリの丘の十字架の力、オリーブ山で語られたミッション、マルコの屋上の部屋の力が私に臨むように祈りましょう。そして、使徒の働きに現れたアンティオキアとアジア、マケドニア、ローマ福音化のことが私に起こるように祈りましょう。

7つのやぐらと旅程、道しるべを私の祈りとして、祈りましょう。

*5つの力-5種類の力のことで。(霊力、知力、体力、人材力、経済力)

*3つの庭-癒やしの庭、異邦人の庭、子どもたちの庭のことで。

*5つの確信-救いの確信、導きの確信、勝利の確信、祈りの答えの確信、罪の赦しの確信です。

かみさま 7つのやぐらと旅程、道しるべを持って、祈ることができますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2023. 12. 20. 東南アジア伝道集会 2 講